

魚つき保安林

この保安林は、三面川河口付近の魚類の保護・育成（繁殖）に役立っています。

この森は、江戸時代より“サケを呼ぶ森”として知られ、村上藩は、この森をお留山とし、山林奉行を置き、禁伐にして、大切に保存してきました。魚類は、森林の作る隠れ家を好み、また森林は、風波を防ぎ、水温を安定させ、水を清く保ち、魚の餌となるプランクトンを繁殖させるなど様々な機能を持っています。

この保安林は、明治44年に、これらの機能を高めるため、特に指定された県内随一の魚つき保安林です。

保安林内においては、次の行為は知事の許可を受けなければなりません。

- 1 立木竹の伐採及び立木の損傷
- 2 土石の採取及び樹根の採掘
- 3 その他土地の形質を変更する行為

森林は国の宝です。保護育成に努め、後世に引き継いでいきましょう。



たき火・たばこの吸殻や、
ごみの投げ捨てに注意し、
樹木を大切に育てましょう。

平成17年度設置 新潟県

作品番号：18401577

作品タイトル：魚つき保安林の案内板

作家：渡部 まなぶ

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：新潟県 村上市

撮影年月日：2010/5/16

学術名：

クレジット表記：(c)OPO / Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：4215px × 2810px

印刷サイズ：30.6cm × 20.4cm

データサイズ：6.2MByte

ファイル形式：JPEG